



学校法人 弘徳学園
姫路大学
豊岡短期大学
こうのとり認定こども園

令和2年度 事業計画書

学校法人 弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立しました。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学、翌平成20年4月に「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」を増設しました。結果、本学園は独立4年目にして、姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となりました。

そして、平成26年度には地域の子育て支援のために、既存の幼稚園の他に「このとり保育園」を開園し、幼保連携型認定こども園をスタートさせましたが、この認定こども園は、子ども・子育て支援新制度による新しい幼保連携型認定こども園として平成27年度に新たに認可を受け、既存の幼稚園と保育園を廃止し新たな「このとり認定こども園」として運営しています。

本法人は、文部科学省の認可を受け、平成28年4月1日から法人等の名称を、「学校法人近畿大学弘徳学園」から「学校法人弘徳学園」、大学名を「近大姫路大学」から「姫路大学」、短期大学名を「近畿大学豊岡短期大学」から「豊岡短期大学」に変更するとともに、法人本部所在地を豊岡キャンパスから姫路キャンパスへ移しました。

平成28年8月に文部科学省から、「姫路大学大学院看護学研究科」設置の認可を受け平成29年4月1日に開設、さらに平成30年11月に博士後期課程への専攻課程変更の認可を受け、平成31年4月に開設しました。

豊岡短期大学は豊岡短期大学姫路キャンパスの開設について厚生労働省より平成31年3月に指定保育士養成施設の認可を受け、平成31年4月1日に開設しました。

また、令和元年11月には、地域の子どもから高齢者まで健康と発達の向上にむけた研究、支援開発を行う「姫路大学附属健康・教育実践研究センター」を設立しました。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園は、近畿大学創業者世耕弘一先生の説かれた「教育の目的は、人に愛される人、人に信頼される人、人に尊敬される人の育成にある」を建学の精神として、他人や自然を思いやる、いわゆる「共生の心」を備えた人材の育成を目的としています。

この建学の精神を具現化するために、次のような教育目標をかかげております。

- 第1は、「人間は人間だけで生きているのではなく、他の生命とともに、生かされているという認識をもつこと、そしてこの思想を推進するための実践力を培う」
- 第2は、「専門職業人としての基本的な倫理観を身につけるとともに思いやりの心を培う」
- 第3は、「専門職に必要な基礎的知識及び技術を修得するとともに、創造性を培う」
- 第4は、「社会・歴史に対する深い洞察力を身につけるとともに、豊かな人間性を培う」
- 第5は、「国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う」

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

令和2年度予算編成における基本方針とその概要について

令和元年10月 1日
弘徳学園法人本部

○令和2年度予算編成の基本方針

私立学校をめぐる環境は、少子化による18歳人口の減少が続き、大学間の学生募集活動は熾烈を極めており、また、地球温暖化などの異常気象などがもたらす大きな環境変化など様々な諸問題により、私立学校の経営環境はこれまで以上に大変厳しい状況となっております。こうした状況下において、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ教育の質の保証を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期計画と財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育研究活動とその他の諸活動の計画が一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

上記のような観点から、学園の中期計画を基に、令和2年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えること、累積赤字の圧縮にむけ単年度収支の改善に努めることを目標とし、特に教育・研究経費に重点配分を行いながら、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算を編成することが重要であります。

事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本とする
- 物品調達等の重要性及び必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を基本とする

(2) 主な事業の目的・計画等

① 令和2年度事業計画に係る経費は下記別表のとおりです。

別 表

(単位：千円)

事業No.	対象学校	事業名	予算額
2- 1	法人本部	教職員住宅及び学生用宿舍整備	14,992
2- 2	法人本部	外国人留学生受入先の視察調査	1,060
2- 3	法人本部	姫路大学畜産研究所（産学連携機関）の設置	928
2- 4	姫路大学	姫路大学認証評価（第三者評価）の受審	2,700
2- 5	姫路大学	姫路大学職員用PCの購入	9,108
2- 6	姫路大学	姫路大学ホームページのリニューアル（継続事業）	9,000
2- 7	姫路大学	姫路大学1号棟電話交換機移設および更新工事	7,921
2- 8	姫路大学	姫路大学新2号棟1階RISO ORPHISの入替	2,696
2- 9	姫路大学	姫路大学スクールバスの購入	7,300
2- 10	姫路大学	姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費	15,000
2- 11	姫路大学	姫路大学とカナダ・ビクトリア大学における語学および看護プログラム運用	2,657
2- 12	姫路大学	姫路大学 就職・校友課の設置	90
2- 13	姫路大学	姫路大学看護師等国家試験対策	11,200
2- 14	姫路大学	姫路大学と香港理工大学との看護プログラム運用	540
2- 15	姫路大学	姫路大学講義室における教育機器備品の整備	1,007
2- 16	姫路大学	姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援	2,637
2- 17	姫路大学	姫路大学通信教育事務部UniVisionシステム機器更新	5,032
2- 18	姫路大学	姫路大学通信教育事務部システム改修	1,650
2- 19	姫路大学	姫路大学フィジカルアセスメントモデルの入替	2,280
2- 20	姫路大学	姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座	1,135
2- 21	姫路大学	姫路大学大学院博士後期課程学年進行に伴う継続事業	3,100
2- 22	姫路大学	姫路大学大学院海外の大学教員との交流	1,055
2- 23	豊岡短期大学	豊岡短期大学高圧設備機器不良 第4期修繕（全5期）	2,235
2- 24	豊岡短期大学	豊岡短期大学自動火災通報設備改修工事	2,179
2- 25	豊岡短期大学	豊岡短期大学和花季ひろばの開催	1,085
2- 26	豊岡短期大学	豊岡短期大学こどもフェスタ2020（継続事業）の開催	343
2- 27	豊岡短期大学	豊岡短期大学姫路キャンパスこどもフェスタ 講演会開催	940
2- 28	豊岡短期大学	豊岡短期大学TtLeSの改修について	3,575
2- 29	このとり認定こども園	このとり認定こども園欄干修繕工事	1,072
事業合計			114,517

② 令和2年度事業計画に係る事業の概要説明

(2-1) 教職員住宅及び学生用宿舎整備

学校法人弘徳学園の教職員の住宅及び姫路大学・豊岡短期大学の学生が長期間の実習（保育実習、教育実習、看護系実習など）を行う際の宿舎として貸与するための土地付き住宅を購入する計画です。

(2-2) 外国人留学生受入先の視察調査

外国人留学生の受入構想に伴い、現地調査等を行う計画です。

(2-3) 姫路大学畜産研究所（産学連携機関）の設置

姫路大学に産学連携機関として、①有機畜産の研究開発、②畜産経営参入モデルの提案・普及を特徴とする「畜産研究所」の設置を計画しています。

今年度は、設置準備室を開設し、具体化する計画です。

(2-4) 姫路大学認証評価（第三者評価）の受審

姫路大学では、令和2年度に公益財団法人大学基準協会による、認証評価（第三者評価）を受審する計画です。

(2-10) 姫路大学硬式庭球部運営および遠征業務委託費

姫路大学では硬式庭球部の強化に力を入れており、平成29年度に関西学生リーグ1部へ昇格。平成30年度から国体に連続出場し、令和元年度には全日本大学対抗テニス王座決定試合で第4位を成し遂げました。

本年度も引き続き運営と海外遠征も含めた業務を委託し、育成選手の強化を図る計画です。

(2-12) 姫路大学 就職・校友課の設置

姫路大学では、学生への支援を総合的に強化するため、就職・校友課を設置し、学生生活や就職・奨学金などの支援を行います。

(2-21) 姫路大学大学院博士後期課程学年進行に伴う継続事業

大学院後期課程は開設2年目を迎え、本研究科が実施する教育目的を達成するため、設置計画のとおり備品等の整備を行います。

(2-11) 姫路大学とカナダ・ビクトリア大学における語学および看護プログラム運用
グローバルで観て考える視点を養う学習機会を提供するため、令和元年度にカナダ・ビクトリア大学とのMOU提携を実現させました。

今年度は、その提携先のカナダ・ビクトリア大学への海外研修事業として語学プログラムおよび看護プログラムを運用する計画です。

(2-14) 姫路大学と香港理工大学との看護プログラム運用

香港理工大学での、海外研修をとおして、同じアジア圏の看護分野におけるグローバルな視点を養うとともに、異文化理解を深め、コミュニケーション能力を高めるためのプログラムの運用を計画しています。

(2-22) 姫路大学大学院海外の大学教員との交流

姫路大学大学院看護学研究科では、アメリカのジョージタウン大学等で活躍する看護研究及び臨床倫理を専門とする教員を本学に招聘し交流を図る計画です。

博士前期、後期課程の授業等で、世界的レベルの知見に触れ、さらに共同研究に向けて、ディスカッション等を行う構想です。

>> 施設設備等に関する事業

姫路大学整備関係事業

(2-5) 姫路大学職員用PCの購入

令和2年1月にWindows7の延長サポートの終了を受け、業務遂行上PCを安全な状態で使用させるため、順次計画的にPCを購入する計画です。

(2-6) 姫路大学ホームページのリニューアル（継続事業）

現在使用しているホームページ更新用ソフトウェアのサポート終了を機にホームページの仕様を含め全面的なリニューアルを行う計画です。

（前年度からの繰越事業）

(2-7) 姫路大学1号棟電話交換機移設および更新工事

姫路大学1号棟の電話交換機は開学から約12年使用し、経年劣化により更新時期を迎えているため、1号棟の電話交換機を最新に更新し、保守の観点から新2号棟サーバー室へ移設する計画です。

(2-8) 姫路大学新2号棟1階RISO ORPHISの入替

教育・研究環境の充実を図るため、姫路大学新2号棟1階の既設の高速カラー印刷機を最新の機種に入替する計画です。

(2-9) 姫路大学スクールバスの購入

現在、電車で通学する本学の学生はJR沿線からのアクセスがあまり便利ではありません。そこで、新しくスクールバスを購入し、現有のスクールバス（リース）と合わせて、山陽電車及びJR線の最寄り駅へのバス運行を計画し、通学環境の向上を図る計画です。

(2-15) 姫路大学講義室における教育機器備品の整備

姫路大学では、在学者数の増加に伴い、講義室の環境向上に必要な天吊りモニターを、新2号棟203・204講義室に設置する計画です。

(2-17) 姫路大学通信教育事務部UniVisionシステム機器更新

姫路大学通信教育事務部の教務システムUnivisionで使用しているOCR機器のソフト保守期限が切れるため、新機種への入替を計画しています。

(2-18) 姫路大学通信教育事務部システム改修

「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関の認定をうけ、実施に伴う事務処理の効率化を図り、各種要件に対応するべく、教務システムを改修する計画です。

(2-19) 姫路大学フィジカルアセスメントモデルの入替

姫路大学看護学部では、フィジカルアセスメントの技術を高め、患者の状況判断、問診、瞳孔反射、血圧測定、聴診、脈診、心電図の診察トレーニングが可能であるシミュレーション人形の入替を行い、学習環境の向上を図る計画です。

豊岡短期大学整備事業

(2-23) 豊岡短期大学高圧設備機器不良 第4期修繕（全5期）

豊岡短期大学の高圧電気設備は、30年以上使用し経年劣化が激しく、年次計画として設備の入替を計画しており、本年度は第4期工事を行う計画です。

(2-24) 豊岡短期大学自動火災通報設備改修工事

豊岡短期大学の自動火災通報設備は導入から20年以上が経過し、消防法により定められている点検は毎年行っているものの、警報盤等の設備の老朽化が進んでおり、安全性に配慮し設備の改修工事を計画しています。

(2-28) 豊岡短期大学TtLeSの改修について

豊岡短期大学通信教育部では、「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関の認定をうけ、実施に伴う事務処理の効率化を図り、各種要件に対応するべく、教務システムを改修する計画です

こども園整備事業

(2-29) こうのとり認定こども園欄干修繕工事

こども園の門扉前にある橋の欄干に腐食が見られます。園児の安全な園生活を最優先として、欄干の取替修繕工事を行う予定です。

>> 学生のキャリア支援に関する事業

(2-13) 姫路大学看護師等国家試験対策

看護学部では、看護師、保健師、助産師の国家試験合格率100%を目指し、看護学部3年生および4年生の全学生を対象として、集中講義ゼミや模擬試験を行うとともに、学生の学習進度に応じ、補講や個人指導などをきめ細かく行っていく計画です。

(2-16) 姫路大学教員採用試験に伴う対策講座及び学生支援

教育学部では、引続き教員採用試験本試験を見据え、筆記試験対策のほかにも面接指導、模擬授業指導を行い、試験日直前まで学習の最終チェックや弱点補強に努め、きめ細かな学生支援を行っていく計画です。

また、遠方での受験に対して、学生の経済的負担軽減の観点により、引続き交通費等の補助を行う計画です。

>> 学術・研究関連事業

(2-20) 姫路大学附属健康・教育実践研究センター市民公開講座

姫路大学では、地域で生活している成人・高齢者や障害児・者のQOL (Quality of life) の向上を目指した研究及び支援活動を行うため「健康・教育実践研究センター」を設置しました。

「子どもから高齢者まで、健康と発達の向上にむけた研究及び支援方法の開発を行い、相談活動や健康教室、講座等を通して地域社会に貢献すること」を目的とし、啓発活動を行うため、市民公開講座を計画しています。

この市民公開講座の開催をもとに、社会や地域への支援・協賛を行う計画です。

>> 地域貢献等を目的とする事業

(2-25) 豊岡短期大学和花季ひろばの開催

豊岡短期大学では本年度も「育ちあいのなかまづくり」で但馬地域のこどもたちと保護者、本学学生が集い、学習の成果発表を行い、「食のフェア」では地産地消をテーマに地元の但馬・丹後地域の魅力ある食を地域住民とともに楽しむ催し物を計画しています。

(2-26) 豊岡短期大学こどもフェスタ2020（継続事業）の開催

豊岡短期大学（豊岡キャンパス）では、特色である実践的な幼児教育に関する取組みとして、地域の子育て支援に貢献することを目的に地域のこどもを対象とした「こどもフェスタ」の開催を計画しています。

(2-27) 豊岡短期大学姫路キャンパスこどもフェスタ 講演会開催

豊岡短期大学（姫路キャンパス）の近隣地域の教育機関等に姫路キャンパスの周知を図るとともに、豊岡キャンパスとの相互交流の場とすること等を目的に、「こどもフェスタ 講演会」の開催を計画しています。

③ 経常的経費による活動

- ・ 姫路大学と豊岡短期大学では、「高等教育の修学支援新制度」の支援対象機関として認定されました。
この制度の他にも、授業料等を減免する形で、様々な本学園独自の奨学金制度を設け、学生の就学サポートを行っています。
- ・ 「次世代教育戦略室」を設置し、姫路大学の教育・研究に関する様々な事柄を検討する計画です。
- ・ 認定こども園では、外国人講師と常時接することにより、幼児期からのバイリンガル教育を行い、広く国際感覚を育成しています。
また、茶道を保育に取り入れ「和の文化」にも触れ、礼儀作法を身に付けるなど特色ある教育・保育を行っています。
その他にも、園庭開放や親子教室など、地域の子育てに関する支援事業を行う予定です。

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りです。

- 1、姫路大学教育学部 学科改編（通学・通信）構想
- 2、姫路大学農学部畜産学科（仮称）の設置構想

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増 減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
学生生徒等納付金収入	2,061,724	2,019,413	42,311	2,003,920	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	53,525	56,049	△2,524	54,848	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	0	
補助金収入	437,988	424,665	13,323	392,202	・私立大学等経常費補助金他
資産売却収入	0	0	0	0	
付随事業・収益事業収入	23,627	14,969	8,658	14,331	・補助活動収入他
受取利息・配当金収入	43	43	0	40	・受取利息
雑収入	17,391	22,802	△5,411	44,813	・コピー代等その他の雑収入
借入金等収入	0	0	0	0	
前受金収入	308,160	305,500	2,660	289,833	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	36,011	63,408	△27,397	79,198	・預り金、前期末未収入金他
資金収入調整勘定	△305,507	△292,792	△12,715	△396,973	・前期末前受金、期末未収入金
前年度繰越支払資金	1,114,856	1,266,275	△151,419	1,582,768	・前年度末の現金預金
収入の部合計	3,747,818	3,880,332	△132,514	4,064,980	

支出の部	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増 減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
人件費支出	1,730,426	1,727,443	2,983	1,822,926	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	734,020	679,610	54,410	616,210	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	271,585	261,448	10,137	290,711	・学生募集経費等管理的経費
借入金等利息支出	0	0	0	0	
借入金等返済支出	0	0	0	0	
施設関係支出	16,411	21,883	△ 5,472	0	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	38,040	11,925	26,115	27,509	・機器備品等設備に関する支出
資産運用支出	0	0	0	0	
その他の支出	152,438	175,105	△ 22,667	177,449	・前期末未払金の支払等
予備費	10,000	10,000	0	0	・予備費
資金支出調整勘定	△98,483	△121,938	23,455	△136,101	・期末未払金等
翌年度繰越支払資金	893,381	1,114,856	△221,475	1,266,275	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	3,747,818	3,880,332	△132,514	4,064,980	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※ 資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものであります。

② 事業活動収支予算の状況

(単位：千円)

		科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
教育活動収入の部	事業活動収入	学生生徒等納付金	2,061,724	2,019,413	42,311	2,003,920	・授業料、入学金、実習料等の納付金
		手数料	53,525	56,049	△2,524	54,848	・入学検定料等の手数料
		寄付金	0	3,178	△3,178	580	
		経常費等補助金	437,988	423,117	14,871	392,202	・国庫補助金等(施設整備関係除く)
		付随事業収入	23,627	14,969	8,658	14,331	・補助活動収入他
		雑収入	17,391	21,612	△4,221	43,691	・コピー代等その他の収入
		教育活動収入計	2,594,255	2,538,338	55,917	2,509,572	◎経常的な教育活動に関する事業活動収入
事業活動支出の部	事業活動支出	科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
		人件費	1,777,793	1,772,066	5,727	1,839,009	・本俸他、退職給与引当金繰入額
		教育研究経費	977,232	934,268	42,964	878,959	・教材等教育研究経費及び減価償却
		管理経費	306,716	300,228	6,488	333,025	・教研費以外の管理経費と減価償却
		徴収不能額等	0	0	0	0	
		教育活動支出計	3,061,741	3,006,562	55,179	3,050,994	◎経常的な教育活動に関する事業活動支出
教育活動収支差額			△467,486	△468,224	738	△541,421	教育活動における事業活動収入と支出の差額
教育活動外収入の部	事業活動外収入	科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
		受取利息・配当金	43	43	0	40	・預金利息他
		その他の教育活動外収入	0	0	0	0	
		教育活動外収入計	43	43	0	40	◎経常的な財務活動に係る事業活動収入
教育活動外支出の部	事業活動外支出	科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
		借入金等利息	0	0	0	0	
		その他の教育活動外支出	0	0	0	0	
		教育活動外支出計	0	0	0	0	◎経常的な財務活動に係る事業活動支出
教育活動外収支差額			43	43	0	40	財務活動における事業活動収入と支出の差額
経常収支差額			△467,443	△468,181	738	△541,381	特殊要因を除いた経常的な事業活動収入と支出の差額
特別収支	事業活動特別収入	科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
		資産売却差額	0	0	0	0	
		その他の特別収入	0	5,590	△5,590	7,135	
		特別収入計	0	5,590	△5,590	7,135	◎特殊な要因による臨時的な事業活動収入
	事業活動特別支出	科目	R2年度予算	R元年度予算(補正)	増減	参考値(H30年度決算)	令和2年度予算概要
		資産処分差額	2,619	2,066	553	1,569	・固定資産の除却・廃棄損
	その他の特別支出	0	0	0	0		
	特別支出計	2,619	2,066	553	1,569	◎特殊な要因による臨時的な事業活動支出	
特別収支差額			△2,619	3,524	△6,143	5,566	◎特別収支の事業活動収入と支出の差額
〔予備費〕			10,000	10,000	0		
基本金組入前当年度収支差額			△480,062	△474,657	△5,405	△535,815	◎事業活動収入と支出の差額と等しい
基本金組入額合計			△45,180	△27,957	△17,223	△26,176	・第1号基本金及び第4号基本金
当年度収支差額			△525,242	△502,614	△22,628	△561,992	
前年度繰越収支差額			△3,410,556	△2,907,942	△502,614	△2,345,951	
基本金取崩額			0	0	0	0	
翌年度繰越収支差額			△3,935,798	△3,410,556	△525,242	△2,907,942	
(参考)							
事業活動収入計			2,594,298	2,543,971	50,327	2,516,748	
事業活動支出計			3,074,360	3,018,628	55,732	3,052,563	

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがあります。

※事業活動収支とは

学校法人会計基準の一部改正に伴い、平成27年度決算より「消費収支予算書」から様式を変更して作成することとなった予算書が、「事業活動収支予算書」です。この、事業活動収支は、当該会計年度の学校法人の負債とならない収入を事業活動収入とし、当該会計年度において消費する資産や役務の対価の合計を、事業活動支出として、事業活動区分ごとの収入と支出の内容を明らかにし、基本金組入後の収支均衡の状態を明らかにすることを目的として作成するものです。事業活動の区分は、経常収支と特別収支に区分され、経常収支は、教育活動収支（特別収支と教育活動外収支を除くすべての収支）と教育活動外収支（経常的な財務活動等）で構成され、特別収支は、特殊な要因により発生する臨時的な事業活動収支を計上することになっています。

事業活動区分ごと… 教育活動収支と教育活動外収支の経常収支と前記以外の特別収支の区分

③ 予算概要の説明

資金収支予算について

<収入予算>

在籍学生数が増加する予測のため、学生生徒等納付金は 前年度の補正予算に比べ4千2百万円の増加、補助金収入や付随事業・収益事業収入も増加予測です。

<支出予算>

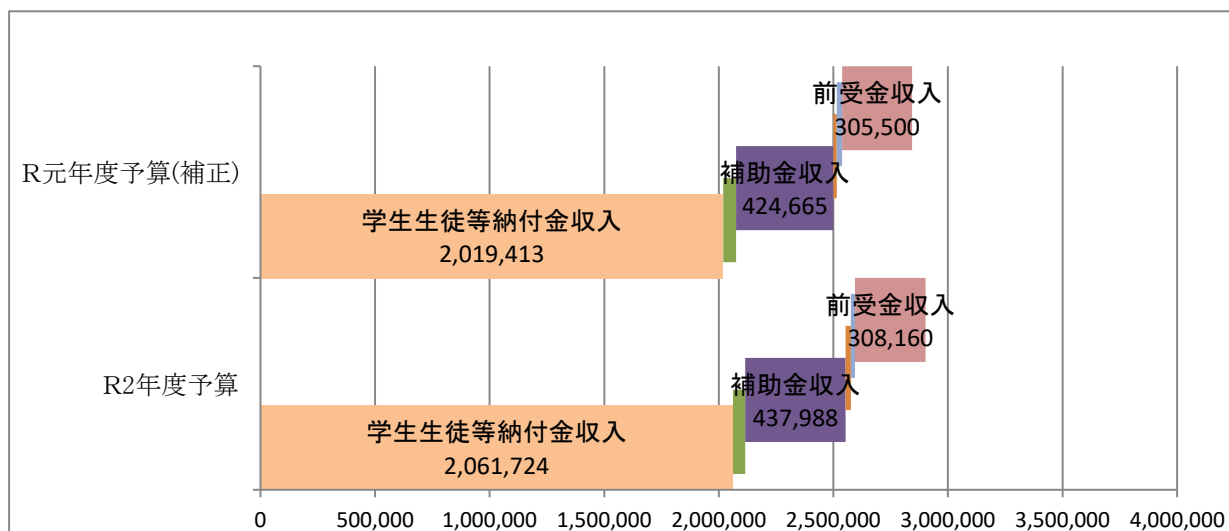
支出予算は、予算編成の基本方針により、冗費の削減を行いながら教育研究経費に重点を置いた予算を編成しています。

今年度は、PCやスクールバスの購入計画の他、施設・設備の更新事業を多く計画しており、支出経費は、前年度補正予算に比べ、増加しています。

よって令和2年度資金収支予算における翌年度繰越支払資金、いわゆる現金預金の保有見込額は、参考値の平成30年度決算から3億7千2百万円の減少、前年度補正予算から2億2千1百万円の減少が見込まれ、8億9千3百万円となります。

(単位：百万円未満切捨)

資金収支収入予算における前年度予算との比較



単位：千円

事業活動収支予算書について

事業活動収支予算では、在籍学生数の見込数増加による収入の増加と、人件費をはじめとする経費の見直しと抑制を計画しておりますが、単年度収支差額は赤字となる見込みです。

令和2年度事業活動収支予算における経常収支差額（教育活動収支と教育活動外収支の差額の計）は、△4億6千7百万円です。こちらに特別収支差額と予備費を加えた、基本金組入前当年度収支差額は、△4億8千万円となる予測です。

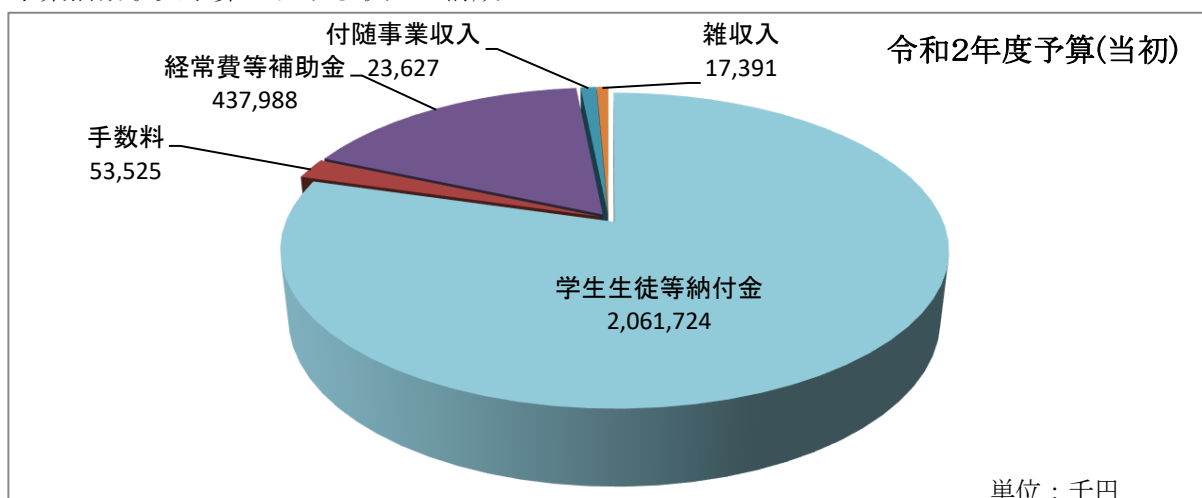
事業活動収支差額に基本金を組入した当年度収支差額は、△5億2千5百万円となり前年度の繰越収支差額を調整した翌年度繰越収支差額は、△39億3千5百万円の累積赤字となる予測です。

今後も定員の充足に努め、安定的な収入の獲得を図り、更なる冗費の削減なども行い、単年度の収支差額の改善を図り、翌年度繰越収支差額における超過の圧縮に努めます。

(単位：百万円未満切捨)

構成図①

事業活動収支予算における収入の構成



事業活動収支予算における支出の構成

